



2026 年 9 月 29 日

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

ホテル運営と次世代型ホテル運営 AI プラットフォームの開発・提供を行う Wayfarer に出資

キヤノンマーケティングジャパン株式会社（代表取締役社長：足立正親、以下キヤノン MJ）は、コーポレートベンチャーキャピタル（CVC）ファンド「Canon Marketing Japan MIRAI Fund」を通じて、ホテル運営および次世代型ホテル運営 AI プラットフォームの開発・提供を行う WAYFARER 株式会社（ウェイファア、本社：東京都港区、代表取締役：チュー・ウィンストン、小出ランス、以下 Wayfarer）へ出資しました。Wayfarer は、都市部を中心とした自社ブランドホテルを運営するとともに、運営現場で得られるデータや知見を活用したホテル運営 AI プラットフォーム「Materia Connect」を開発・提供しています。本出資を通じて、テクノロジーを活用したホテル運営の高度化と、新たな顧客体験の創出に向けた取り組みを推進します。



訪日外国人旅行者数は 2025 年に過去最高^{※1}を記録し、宿泊需要は都市部を中心に高い水準で推移しています。一方で、宿泊業界では慢性的な人手不足が課題となっています。限られた人員で収益性を高めながら、多様な旅行者に質の高い宿泊体験を提供するために、ホテル運営をデジタル化するホテル DX への期待が高まっています。

Wayfarer は 2019 年の設立以来、京都・大阪を中心に都市型ホテルを運営してきたスタートアップです。現在は、滞在スタイルに応じた「Wayfarer」、「Kabin」、「ORI」という 3 つのブランドで 13 施設を稼働し、東京・福岡などへの開業も進めています。

同社の特長は、ホテルを運営するだけでなく、料金設定や予約、チェックインなど、ホテル運営と旅行者の滞在を支えるホテル運営 AI プラットフォーム「Materia Connect^{※2}」を自社で開発するテクノロジー企業でもある点です。ホテル運営とソフトウェア開発を一体に手がけることで、自社運営ホテルで得られるデータや知見を生かし、機能の検証と改善を迅速に進めています。今後は、これらの機能を備えた「Materia Connect」の他の宿泊事業者への本格的な提供を開始し、宿泊事業者の収益性向上と業務効率化、旅行者の利便性向上を支援していきます。

キヤノン MJ グループは、未来志向で社会課題を解決するため、最先端の技術やビジネスアイデアの探索とオープンイノベーションを推進し、新たな価値創造に取り組んでいます。CVC ファンド「Canon Marketing Japan MIRAI Fund」は、「Life Purpose（精神的な豊かさを通じて、誰もが健康で生きる活力を感じられるサービスの創出）」、「Business Revitalization（共創による既存の産業構造の破壊と、新たな競争力の創出）」を投資領域の一つとして掲げています。

こうした新たな価値創造に向けた具体的な取り組みの一つとして、キヤノン MJ グループでは、テクノロジーを活用したホテル運営のさらなる生産性向上と、旅行者一人ひとりに寄り添った顧客体験の実現をテーマとしたイノベーション創出に取り組んでいます。Wayfarer がホテル運営とテクノロジー開発を一体で手がけ、実際の運営現場で検証・改善を重ねながらホスピタリティ産業の DX を推進し、進化した宿泊体験を提供している点を高く評価し、このたびの出資に至りました。

本出資を通じて、テクノロジーを活用したホテル運営の高度化を支援するとともに、ホスピタリティ産業の持続的な成長と、旅行者にとってより豊かな「旅」の実現に貢献していきます。

※1 出典元：JNTO（日本政府観光局）https://www.jnto.go.jp/news/press/20260121_monthly.html

※2 Materia Connect ホームページ：<https://materiaos.ai/ja/>

■ Wayfarer 概要：

会社名	WAYFARER 株式会社
設立年月	2019 年 10 月
所在地	東京都港区虎ノ門 1-17-1 虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー15 階
代表者	代表取締役 チュー・ウィンストン、小出ランス
事業内容	ホテル運営および次世代型ホテル運営プラットフォームの開発・提供
URL	https://www.kabinhotel.com/ja

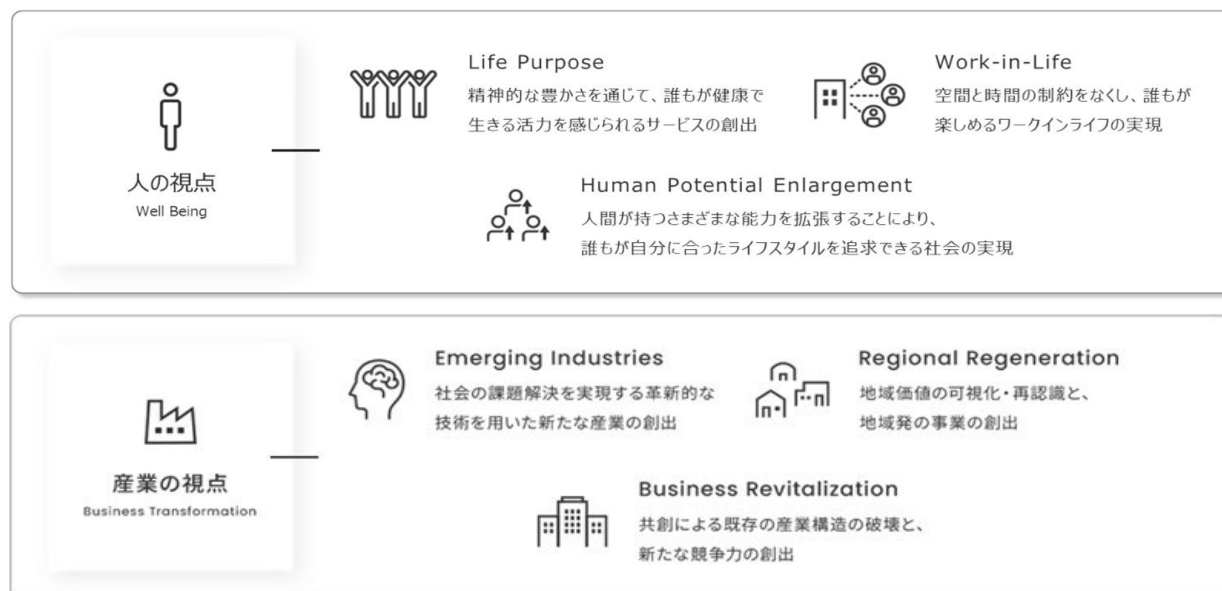
■ Canon Marketing Japan MIRAI Fund 概要

キヤノン MJ グループの「R&B（Research & Business Development）推進本部」では、未来志向で社会課題を解決する新規事業の創出に取り組んでいます。その一環として、最先端の技術やビジネスアイデアを持つスタートアップ企業とのオープンイノベーションを加速するため、100 億円規模の CVC ファンド「Canon Marketing Japan MIRAI Fund」を運営しています。

名称 （登記名称）	Canon Marketing Japan MIRAI Fund （キヤノンマーケティングジャパン未来投資事業有限責任組合）
無限責任組合員	グローバル・ブレイン株式会社
有限責任組合員	キヤノンマーケティングジャパン株式会社
ファンド規模	100 億円

■ Canon Marketing Japan MIRAI Fund 投資領域

「Canon Marketing Japan MIRAI Fund」は、Well Being（ウェルビーイング）、Business Transformation（ビジネストランスフォーメーション）の 2 分野を投資領域としています。



- 報道関係者のお問い合わせ先 : 広報部
- 一般の方のお問い合わせ先 : R&B 推進本部
- R&B ホームページ : canon.jp/rb
- CVC ホームページ : canon.jp/mirai-fund

03-6719-9093（直通）
<https://forum1.canon.jp/public/application/add/9859>